

第32回公共施設等総合管理計画 策定推進本部	日時	令和3年2月2日(火) 9:20~9:30	場所	議場
出席者 (14人)	本部長：西岡市長 副本部長：住野副市長、大熊教育長 天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、加藤市民課長（西田市民部長代理）、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長			
欠席者 (0人)	なし			
事務局	企画政策課 後藤公共施設マネジメント推進担当課長 庶務課 鈴木庶務課長 生涯学習課 関生涯学習課長			
議題	1 小金井市公共施設個別施設計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）について 2 小金井市社会教育関係施設個別施設計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）について 3 小金井市学校施設長寿命化計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）について			
資料	1 「小金井市公共施設個別施設計画（案）に対する意見募集」及び「小金井市公共施設個別施設計画（案）」 2 「小金井市社会教育関係施設個別施設計画（案）に対する意見募集」及び「小金井市社会教育関係施設個別施設計画（案）」 3 「【概要版】小金井市公共施設個別施設計画（案）・小金井市社会教育関係施設個別施設計画（案）」 4 「小金井市学校施設長寿命化計画（案）に対する意見募集」及び「小金井市学校施設長寿命化計画（案）」 5 「小金井市学校施設長寿命化計画（案）概要版」			
<p>【議題1】 <u>小金井市公共施設個別施設計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）について</u> （本件については、事務局が説明を行った。）</p> <p>○ 本日、議題としている3つの計画（案）について、2月4日（木）から3月3日（水）までの間、パブリックコメントの実施を予定していることから、お諮りするものである。 小金井市公共施設個別施設計画（案）については、1月26日（火）の第31回本部にて計画素案をお示しし説明させていただいたところだが、その後1月28日（木）に作業部会を開催し、その後の調整を反映させ取りまとめたものである。 次に概要版だが、パブリックコメントの実施に当たり、市民説明会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い緊急事態宣言が発出されたことを踏まえ、市民説明会の開催を中止することとし、その代替えとして、市民の皆様には計画（案）の内容をわかりやすく御理解いただくため概要資料を作成し、計画（案）と併せて閲覧できるよう設置する。 議会への情報提供については、パブリックコメントの実施に合わせ全議員に計画（案）を配布し、2月17日（水）開催の総務企画委員会で行政報告を予定している。 今後、突発的な修正等が生じた場合は、事務局にて対応することとしたいと思うが、計画（案）については、本日示した内容で承認いただきたい。</p> <p>【議題2】 <u>小金井市社会教育関係施設個別施設計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）について</u> （本件については、事務局が説明を行った。）</p> <p>○ ここまでの流れについては、小金井市公共施設個別施設計画（案）と同様のため、省略させていただく。 今後の予定は、2月4日（木）からのパブリックコメントの実施を予定している。また、議会への情報</p>				

提供については、パブリックコメントの実施に合わせ、全議員に計画（案）を配布し、2月16日（火）開催の厚生文教委員会において行政報告を予定している。

なお、1月28日（木）に開催された教育委員会定例会において、本計画（案）のパブリックコメント実施予定について報告している。

今後、突発的な修正等が生じた場合は、事務局にて対応することとしたいと思うが、計画（案）については、本日示した内容で承認いただきたい。

【議題3】 小金井市学校施設長寿命化計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）について
(本件については、事務局が説明を行った。)

- 本日配布した資料「小金井市学校施設長寿命化計画（案）概要版」に沿って説明する。

概要版の表面上段は、主に学校施設のハード面について記載している。計画策定に当たり、施設の構造躯体の健全性と構造躯体以外の劣化状況の把握のための調査を行い「建物情報一覧」を作成した。また、これまで建物に掛けてきた経費の傾向を分析したところ、耐震改修が終了した2008年（平成20年）以降、約1/4の経費を校庭芝生化やプール等の建物以外に掛けており、部分的な改修は行っているものの、全体の老朽化が進行している。

続いて、表面下段は、学校施設のソフト面について記載している。上位計画・関連計画の整理、特色ある教育の取組を抽出し、学校施設に今後求められる新たな対応の必要性を確認している。併せて、児童生徒数の推移と将来推計を行っている。今後数年間は増加が進み、2028年（令和10年）をピークとして徐々に減少している。また、中央線沿線に近い小学校では児童数が増加し、教室が不足する懸念がある。

次に、裏面上段左側は、今後の維持・更新コストの試算を記載している。3つの維持・更新パターンを設定し今後のコストを試算、比較した結果、適切な時期に予防保全的に改修工事を実施し、建物の長寿命化を図ることがコスト面でも優位性があり、また、時代に合わせた機能向上が図れるため、長寿命化改修と代替を併用するパターンを軸として対応することとしている。

続けて、裏面下段左側では、学校施設整備方針案を記載している。今後の学校施設に求められる姿を整理したものになる。

次に、裏面右側は、長寿命化の実施計画として、改修等の優先順位付けとコスト見通し、今後必要な検討の方向性を記載している。今後、必要な検討の方向性として、各小中学校の状況により「増加対応」「小中合わせの対応」「適正規模・適正配置」の3つの方向性を示している。

最後に、本計画の継続的運用方針として、情報基盤の整備と活用、推進体制等の整備、フォローアップについて記載している

【関連質疑】

- 市民説明会の代替えとして、各計画で説明された内容を別刷りで出したり、HPに動画をアップしたりすることを検討してはいかがか。
→ 市民説明会の代替えとして、市民の方々になるべく少ない資料で計画をご理解いただけるよう、資料3を作成した。パブリックコメントの実施に合わせて設置する予定である。

— 以上で、会議終了 —